

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

2022-2023年シーズン 第8週(2月20日~2月26日)

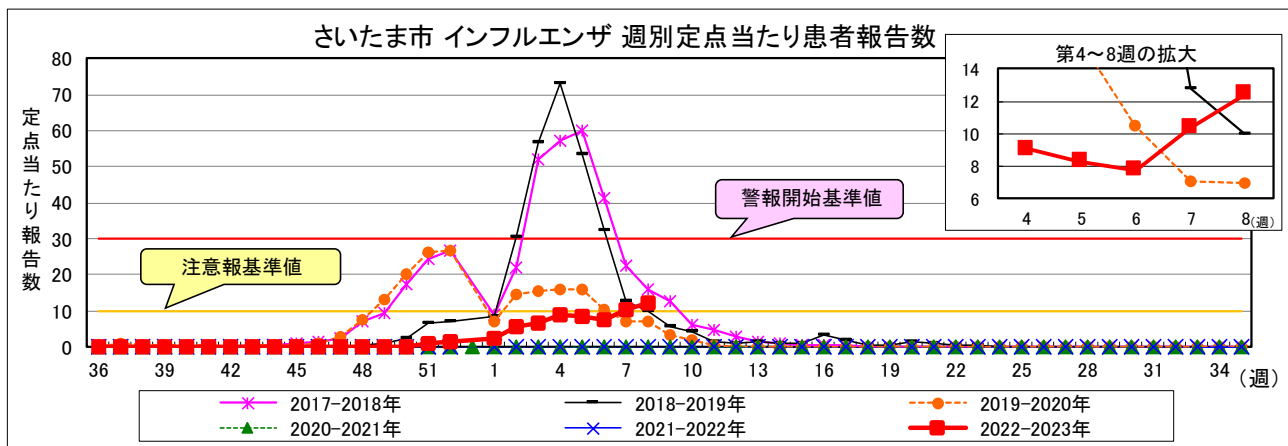
※さいたま市では小児科・内科診療を行っている41か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

1. 市内のインフルエンザ患者報告状況

注意報レベルが続いています！

定点医療機関からの患者報告数は497人、定点当たり報告数は12.43人と、先週の10.38人から増加し定点当たり10人を超え、注意報レベルが続いています。また、基幹定点医療機関から入院患者4人(全てA型)の報告がありました。

引き続きインフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。

2. 市内病原体定点等からのインフルエンザウイルス検出状況

直近の4週間(第5週~第8週)においては、AH3亜型(A香港型)が12件検出(PCR)されました。なお2022-2023シーズン第8週までにおいては、AH3亜型が17件検出されています。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報によれば、2022-2023シーズン第8週までに全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が21件、AH3亜型が625件、B型ビクトリア系統が7件となっています。

さいたま市 インフルエンザウイルス検出状況(2022-2023シーズン直近)

検体採取週	集計期間	検出数	インフルエンザウイルス			
			AH1 pdm09	AH3亜型 (A香港型)	B型 山形系統	B型 ビクトリア系統
2023年 第5週	1/30 ~ 2/5	3	-	3	-	-
第6週	2/6 ~ 2/12	4	-	4	-	-
第7週	2/13 ~ 2/19	4	-	4	-	-
第8週	2/20 ~ 2/26	1	-	1	-	-

さいたま市 インフルエンザウイルス検出状況(各シーズン合計)

検体採取シーズン	検出数	インフルエンザウイルス			
		AH1 pdm09	AH3亜型 (A香港型)	B型 山形系統	B型 ビクトリア系統
2018-2019シーズン	79	21	51	0	7
2019-2020シーズン	62	49	1	0	12
2022-2023シーズン※第8週まで	17	-	17	-	-

※2020-2021シーズンおよび2021-2022シーズンはインフルエンザウイルス検出がありませんでした。

★令和5年2月28日13時現在の速報です。

さいたま市健康科学研究センター (さいたま市感染症情報センター) TEL:048-840-2250 FAX:048-840-2267